

令和3年度 学校関係者評価

中央歯科衛生士調理製菓専門学校 歯科衛生学科

令和3年度学校関係者評価委員

■保護者 芹澤朋子 様 (歯科衛生学科2年生芹澤咲耶さんの保護者)

■企業関係者 汐見久美子 様 (しおみ歯科医院院長)

■他校関係者 塚口公美子 様 (中央医療健康大学校 歯科衛生学科学科長)

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	A
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A

【現状の問題点】

高評価となっており特に問題はない。

【改善のための方策】

・コロナ禍で今まで学生が唱和していた教育目標などが出来なくなっていたことから、低くなってしまった。

【関係者評価】

--

2. 学校運営		
【自己評価結果】		平均
6	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
9	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
10	組織内の連携は適切に図られているか。	A
11	上司の指示は適切にされているか	A
12	上司は提案を受け入れてくれているか	A
13	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	A
14	BSCは適切に活用されているか。	A
【現状の問題点】		
若干昨年度よりも下がったが大きな問題はない。設問8については学内研修への参加等をしながらより改善をしたい。その他の項目についても改善の努力を続けたい。		
【改善のための方策】		
<ul style="list-style-type: none"> ・問7については、効率化は学園でシステム化してほしい。それについても勉強は個人でしていきたい。また、学内ではクラスルームやフォームを使用して動画をあげて復習できるようにしたり、出席確認を行えるようになった。 ・問8については、学内の研修にも積極的に参加し、個々に勉強していく。 ・問9、10、11、12についてはもっと他科との勉強会等を行えるような機会をつくっていきたい。また学園内で分からない点があった時に問い合わせる部署などが分からないことがある。 		
【関係者評価】		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
15	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
16	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
17	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
18	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
19	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
20	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
21	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
22	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
23	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
24	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
25	十分に余裕を持って教育行事の準備が来ているか。	A
26	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に大きな問題はない。設問18, 20は学園としても低学力者対策に力を入れて行く必要を感じる。		
【改善のための方策】		
<ul style="list-style-type: none"> ・問18、20については勉強をしない学生などの対応について、苦勞した。他科の意見や経験も聞いてみたい。 ・問22、23については来年度のシラバスについて、科内で詳細に話し合った。 		
【関係者評価】		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
27	就職率の向上が図られているか	A
28	退学率の低減が図られているか	A
【現状の問題点】		
就職率は100%が続いているが、試験前の内定率の問題と思われる		
【改善のための方策】		
・3年生の成績が悪かったため、年内内定者が少なかったため下がってしまった。		
【関係者評価】		

5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
29	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
30	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
31	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
32	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
33	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われる。		
【改善のための方策】		
・問31については、防犯については防犯カメラや自動ドア等で改善されたが、コロナ禍で1階実習室や更衣室の窓やドアを換気のため開けている時が不安である。実習終了後に必ず確認する。		
【関係者評価】		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
34	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	A
【現状の問題点】		
開講して20年近くなってきたので、機器備品の修繕・購入計画を立てて行く必要がある。		
【改善のための方策】		
・開校時から使用している器具や設備はそろそろメンテナンスもできなくなるのではないか。		
【関係者評価】		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
35	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
36	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
37	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
38	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
学生募集の問題はなかった。		
【改善のための方策】		
<ul style="list-style-type: none"> ・入学希望者は多かったけれど、コロナ禍で入場制限をして希望者を断ったことが多かった。 ・SNS発信をもっと頑張りたい。 		
【関係者評価】		
8. 財務		
【自己評価結果】		平均
39	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
40	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われる。		
【改善のための方策】		
・予算作成にも慣れてきたが、急な購入品や修理などに対応するため、予備費があると良いと感じる。		
【関係者評価】		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
41	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
42	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
43	個人情報保護法を遵守しているか。	A
44	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】		
個人情報保護には特に注意を怠らないようにしたい。		
【改善のための方策】		
・テスト前期間の教務室への立ち入り禁止等がゆるくなっている。また他にも各個人で気をつけたい点を共有して更に実施していく。		
【関係者評価】		